



ここでしか聞けない歌丸氏の逸話がどんどん飛び出します。

## 桂歌丸師匠をしのんで

### 桂歌丸一門会「ののいち寄席」

落語家・桂歌丸氏の七回忌追悼公演として、6月30日(日)に文化会館フォルテで「ののいち寄席」が開催され、約200人が来場しました。歌丸氏の愛弟子である3人の真打、桂歌春氏、桂歌助氏、桂歌蔵氏が集結し、「井戸の茶碗」や「長命」などの古典落語をたっぷりと披露。前座は、歌助氏の弟子・桂れん児氏が務めました。座談会では、弟子たちの失敗話や歌丸氏の厳しさが分かるエピソードを紹介。断家たちの巧みな話芸に、満席の会場は大きな笑い声に包まれていました。

## 買って食べて野々市から復興を応援！ 能登応援物産フェア

「道の駅のと千里浜」と連携して能登の特産品を紹介・販売するフェアが1の1NONOICHIで7月2日(火)から開催されました。これは、令和6年能登半島地震を受け、買い物を通じて能登の復興を応援したいという思いから市観光物産協会が企画したものです。珠洲の平釜手作り塩や能登町のいしるといも菓子、輪島の海女さんが作った珍味など各地の特産品が勢ぞろい。道の駅のと千里浜オリジナル商品もずらりと並び、魅力あふれる商品を多くの人が購入しました。



能登の恵みが盛りだくさん。どれを買おうか悩みます。



暑さ対策をしながら公園で草むしりをする参加者。

## 自分たちのまちは自分たちで綺麗に

### 子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

7月7日(日)、市内の各町内会において「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」が行われました。子どもと大人が共に地域の清掃活動を行うことにより、地域への愛着と美化意識の向上を目的として“ののいちっ子を育てる”市民会議と市連合町内会が毎年開催しているものです。

田尻町内会では、朝から気温が高く蒸し暑い中、参加者が町内の公園や通学路で1時間程度ごみ拾いや草むしりなどを行いました。



子育て支援センターアリスとの合同行事です。

## 親子で憩いの時間を

### 親子で遊ぼう♪「プール遊び」

7月9日(火)、プール遊びがつばきの郷児童館で開催されました。晴れていれば屋外プールで遊ぶ予定でしたが、当日は雨が降ったため室内遊びとなりました。子どもたちがボールプールで全身を使って泳いだりボールを投げたりつかんだりして楽しむ様子を見守りながら、保護者の皆さんは先生も交えて普段は話せない子育ての悩みなどを話し合いました。参加した12組26人の親子はそれぞれに憩いの時間を過ごし、館内は和やかな雰囲気に包まれました。

# まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎ 227-6056

## プロの思考を学ぼう

### 森井健太選手クリニック・トークセッション

7月13日(土)に市スポーツセンターで森井健太選手クリニック・トークセッションが開催されました。市出身プロバスケットボールプレイヤーの森井選手をはじめとしたプロ選手やコーチと直接交流できるまたとない機会となりました。

筋肉の使い方から実践的な技術まで幅広く指導するクリニックでは、参加した市内中学のバスケットボール部員たちは終始目を輝かせ、貪欲に技術を取り入れていました。トークセッションでは「なりたい自分になるためにはどうすればよいのか」というテーマで話を聞きました。森井選手は「何よりも継続が大切。小さなことでも毎日積み重ねていけばいずれ大きな力になる」と話しました。終了後は質問コーナーやサイン会、記念撮影が行われ、憧れの選手と交流できた参加者の喜びはひとしおでした。



①森井選手（横浜ビー・コルセアーズ キャプテン）②実践形式の練習でプレイする森井選手③森川正明選手（長崎ヴェルカ）④酒井達晶選手（金沢武士団）⑤高橋亮氏（横浜ビー・コルセアーズ デベロップメントコーチ）⑥全員で記念撮影！



高村氏（写真左）とクレープ作りを楽しむ参加者。

## おうちでも作りたくなる

### 愛情たっぷり！クレープ作り

にぎわいの里ののいち カミーノで、6月18日(火)に料理教室が開かれました。定員いっぱいの16人が参加したこの教室。講師に「菓子工房エクラタン」オーナーパティシエの高村尚樹氏を招き、焼いた生地バターと砂糖を付けるブルシュクレや2種類のクリームとフルーツをクレープ生地で包んだフルーツサンドを作りました。パティシエ直伝の技を学び、出来上がった一品は驚きの仕上がり。参加者は手作りの甘味に舌鼓を打ちました。

## 「梅猩々」で乾杯！

### 梅酒と音楽に酔う夏至の宵

6月29日(土)、にぎわいの里ののいち カミーノで野々市生まれの純米酒猩々仕込みの梅酒「梅猩々」を楽しむイベントが開催されました。何度も試作を重ねて作られた梅猩々は、深いコクがあり豊かでずきりとした味わいに仕上がりました。梅猩々のお供には山の恵みがたっぷりの弁当と女性ジャズトリオ「TriCo」の美しいハーモニー。参加者からは「飲みやすい」「ストレートで飲むのがおいしい」など好評で、梅酒と音色に酔いしれる1時間半となりました。



猩々の新たな魅力を引き出す梅猩々（右上）が新登場。